

| | | | | | |
|--|---|--|---|---------------------------------|----|
| 岐阜工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和06年度 (2024年度) | 授業科目 | 体育 |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0057 | 科目区分 | 一般 / 必修 | | |
| 授業形態 | 実技 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | | |
| 開設学科 | 電気情報工学科 | 対象学年 | 3 | | |
| 開設期 | 通年 | 週時間数 | 2 | | |
| 教科書/教材 | ステップアップ高校スポーツ (大修館) | | | | |
| 担当教員 | 山本 浩貴, 麻草 淳 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <p>様々な運動種目を通し、体力や運動能力の向上を図る。また、種目特性やルールの理解を深めることで、生涯にわたる運動習慣につなげる。プレー中にはもちろんのこと、プレー以外でも他と協調・協力しあう態度を育てる。</p> <p>①関心・意欲・態度：様々な運動に取組み、体力・技能向上のための取り組みができる。</p> <p>②思考力・判断力：自己やグループの課題を見つけ、改善への取り組みや工夫ができる。</p> <p>③運動技能：効率的な技術やゲームにおける効果的なプレーができる。</p> <p>④知識・理解度：種目の特性を理解したプレーができ、審判としてもゲームの進行ができる。</p> <p>⑤責任・貢献・協調性：自己の役割を自覚し、授業の運営・チーム力の向上などに貢献できる。</p> <p>岐阜高専ディプロマポリシー：(A)</p> | | | | | |
| ループリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 評価項目1 関心・意欲・態度 | 様々な運動に対して、積極的に意欲や関心を持って学習し、体力・技能の向上のための取り組みができる。 | 様々な運動に取り組むことができる。 | 様々な運動に取り組むことができない。 | | |
| 評価項目2 思考力・判断力 | 自己やグループの課題を見つけ、改善への取り組みや工夫ができる。 | 自己やグループの課題を見つけることができる。 | 自己やチームの課題を見つけることができない。 | | |
| 評価項目3 運動技能 | 自己やグループの課題を見つけ、改善への取り組みや工夫ができる。 | 運動・ゲームを構成する基本技術が身についている。 | 運動・ゲームを構成する基本技術が身についていない。 | | |
| 評価項目4 知識・理解度 | 効率的な技術やゲームにおける効果的なプレーができる。 | 運動・種目の特性、ルールを理解している。 | 運動・種目の特性、ルールを理解していない。 | | |
| 評価項目5 責任・貢献・協調性 | 自己の役割を自覚し、授業の運営・チーム力の向上などに貢献できる。 | 自己の役割を自覚し、能力に応じた貢献ができる。 | 自己の役割を自覚できず、能力に応じた貢献ができない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | <p>2クラス合同授業となる。以下のコースから選択する</p> <p>1.前期 柔道 後期 卓球 2.前期 ソフトテニス 後期 柔道</p> <p>①体力テストの実施より、体力の変化を確認し、体力向上に努める。(全コース共通) ②柔道の基本技術の習得、柔道の試合ができる技能・知識の習得、柔道の特性と武道について学習する ③各種目の基本技術の習得、各種目の試合にむけた技能の習得、競技のルール・審判法・特性を理解する その他：遠隔授業の場合は、担当教員の指示に従って、Teamsでの授業配信を受講する。</p> | | | | |
| 授業の進め方・方法 | <p>各種目の特性とねらいについて理解させ、実技を展開する。基本技術の習得からはじめ、最終的に試合ができるような技術・戦術・知識の習得を目標とする。対人技能の実践を通じ、体力の向上と協調性の面から人間性の高揚を図るとともに、積極的に活動する態度を養う。 (事前準備の学習) 入学時に購入した「アクティブスポーツ (大修館)」で、技術的なポイントやルールを確認しておくことと良い。 英語導入計画：Technical terms</p> | | | | |
| 注意点 | <p>けが防止・安全上の観点より、携帯電話の保持やアクセサリ類の装着を禁止する。 新型コロナウイルス感染症予防や怪我、熱中症などに十分注意すること。 授業内容は、天候等により変更することがある。 遠隔授業になった場合は、指導教員の指示に従いTeamsでの配信授業を受講する。</p> | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | ・武道と柔道の特性、基本知識、安全上の諸注意について 基本練習 ・ソフトテニスの特性と基本知識、安全上の諸注意について 基本練習 | 安全対策の理解 | |
| | 2週 | 柔道：基本技術を主とした内容(受身、体捌き、組み方、簡易な足技と受身の関係) ソフトテニス：基本練習①(フォア・バック、サーブ) | 基本技術の習得 | | |
| | 3週 | 柔道：投技・固技の習得(掛かり練習、約束練習)・・・足技、腰技、抑込技 ソフトテニス：基本練習②(フォア・バック、ボレー、サーブ) | 基本技術と応用練習による技術習得 | | |
| | 4週 | 柔道：投技・固技の習得(掛かり練習、約束練習)・・・足技、腰技、抑込技 ソフトテニス：基本練習③(フォア・バック、ボレー、スマッシュ、サーブ) | 基本技術と応用練習による技術習得基本技術と応用練習 | | |
| | 5週 | 体力テスト グループ測定 種目(50M走・ハンドボール投げ・長座体前屈・上体起こし) | 体力テストの実施と体力の自己評価 | | |

| | | | | |
|------|------|--|--|---|
| 後期 | 2ndQ | 6週 | 体力テスト グループ測定 種目（握力・反復横跳び・立ち幅跳び・シャトルラン） | 体力テストの実施と体力の自己評価 |
| | | 7週 | 柔道：投技・固技の基本練習と応用練習（約束乱取）・ 手技 ソフトテニス：基本練習と簡易ゲーム、審判法 | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 8週 | 柔道：投技・固技の基本練習と応用練習（約束乱取）・ 手技 ソフトテニス：基本練習とゲーム | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 9週 | 柔道：投技・固技の基本練習と応用練習（約束乱取）・ 手技 ソフトテニス：1次リーグ戦① | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 10週 | 柔道：投技・固技の基本練習と実践練習（乱取） ソフトテニス：1次リーグ戦② | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 11週 | 柔道：投技・固技の基本練習と試合練習（審判法） ソフトテニス：1次リーグ戦③ | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 12週 | 柔道：投技・固技の基本練習と試合練習（審判法） ソフトテニス：1次リーグ戦④ | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 13週 | 柔道：投技・固技の基本練習と試合練習（審判法） ソフトテニス：2次リーグ戦①（レベルに応じた対戦） | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | 14週 | 柔道：実技試験（各種受身・投技・固技） ソフトテニス：2次リーグ戦② | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 | |
| | 15週 | 柔道：柔道の歴史的変遷と柔道修行の意義（ビデオ学習） ソフトテニス：2次リーグ戦③ | ビデオ学習により理解を深める 基本技術・応用練習の実技試験を実施して評価する | |
| | 16週 | | | |
| | 3rdQ | 1週 | ・武道と柔道の特性、基本知識、安全上の諸注意について 基本練習 ・卓球の特性と基本知識、安全上の諸注意について 基本練習 | 安全対策の理解 |
| | | 2週 | 柔道：基本技術を主とした内容（受身、体捌き、組み方、簡易な足技と受身の関係） 卓球：基楚練習（フォアハンド・バックハンドでのリターン、サーブ） | 基本技術の習得 |
| | | 3週 | 柔道：投技・固技の習得（掛かり練習、約束練習）・・・ 足技、腰技、抑込技 卓球：基楚練習（フォアハンド・バックハンドでのリターン、サーブ、カット） | 基本技術と応用練習による技術習得 |
| | | 4週 | 柔道：投技・固技の習得（掛かり練習、約束練習）・・・ 足技、腰技、抑込技 卓球：基楚練習（フォアハンド・バックハンドでのリターン、サーブ、さまざまなカットのしかた） | 基本技術と応用練習による技術習得基本技術と応用練習 |
| | | 5週 | 柔道：投技・固技の基本練習と応用練習（約束乱取）・ 手技 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、シングルの試合と審判法） | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| 6週 | | 柔道：投技・固技の基本練習と応用練習（約束乱取）・ 手技 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、シングルの試合と審判法） | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 | |
| 7週 | | 柔道：投技・固技の基本練習と実践練習（乱取） 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、シングルの試合と審判法） | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 | |
| 8週 | | 柔道：投技・固技の基本練習と実践練習（乱取） 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、ダブルスの試合） | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 | |
| 4thQ | | 9週 | 柔道：投技・固技の基本練習と試合練習（審判法） 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、ダブルスの試合と審判法） | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 10週 | 柔道：投技・固技の基本練習と試合練習（審判法） 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、ダブルスの試合と審判法） | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 11週 | 柔道：投技・固技の基本練習と試合練習（審判法） 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、ダブルスの試合と審判法） | 基本技術・応用練習・実践練習・試合によるレベル向上 |
| | | 12週 | 柔道：投技・固技の基本練習と試合練習（審判法） 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、ダブルスの試合と審判法） | 基本技術・応用練習・試合によるレベル向上 |
| | | 13週 | 柔道：実技試験（各種受身・投技・固技） 卓球：実践練習と試合と審判法（ラリー、ダブルスの試合と審判法） | 実技試験により技能レベルの評価 基本技術・応用練習・試合によるレベル向上 |

| | | | |
|--|-----|--|---|
| | 14週 | 柔道：柔道の歴史の変遷と柔道修行の意義（ビデオ学習） 卓球：実技試験（フォアハンド・バックハンドの上達度） | ビデオ学習により理解を深める 基本技術・応用練習の実技試験を実施して評価する |
| | 15週 | 1年間の体育実技のまとめと次年度の体育について（評価方法の説明と講評） | 3年次体育を振り返って自己評価をする |
| | 16週 | | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|--|-------------|--------|--|-------|-----|
| 分野横断的 能力 | 態度・志向性(人間力) | 態度・志向性 | 周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。 | 3 | |
| | | | 自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。 | 3 | |
| | | | 目標の実現に向けて計画ができる。 | 3 | |
| | | | 目標の実現に向けて自らを律して行動できる。 | 3 | |
| | | | 日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。 | 3 | |
| | | | 社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。 | 3 | |
| | | | チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。 | 3 | |
| | | | チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。 | 3 | |
| | | | 当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。 | 3 | |
| | | | チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。 | 3 | |
| | | | リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。 | 3 | |
| | | | 適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。 | 3 | |
| | | | リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている | 3 | |
| | | | 法令やルールを遵守した行動をとれる。 | 3 | |
| 他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。 | 3 | | | | |
| コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。 | 3 | | | | |

評価割合

| | 技術 | 競技特性とルールの理解 | リーダーシップ | 態度 | 意識 | 合計 |
|--------|-----|-------------|---------|----|----|-----|
| 総合評価割合 | 100 | 20 | 20 | 40 | 20 | 200 |
| 前期 | 50 | 10 | 10 | 20 | 10 | 100 |
| 後期 | 50 | 10 | 10 | 20 | 10 | 100 |